

「保護者アンケート」の自由記述欄について①

【学校へのご意見と学校の回答】 ・ 保護者の意見 → 学校の回答

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

自由記述欄には、貴重なご意見を多数寄せていただきました。ご意見は、例年と同様に今後の学校運営の参考とさせていただきます。

学年や学級、個別の案件と思われるご意見については、個別懇談等で担任からお話をさせていただきます。ここでは、全体の保護者の方にお返ししたほうがよいと思われる記述のご意見への現時点での回答をさせていただきます。

①児童について

- ・入学当初は不安でしたが、楽しく学校に通えているので安心しています。
- ・登下校についてもっと指導をしてほしい。
- ・本を読みながら歩いていて危ない。狭い道でも横並びで歩き、困っている歩行者に気付いていない。
- ・言葉遣いが丁寧で、楽しい学校生活を送っています。
- ・学校外では防犯面もあり難しいかもしれないが、学校内で保護者や大人の人に会った時、挨拶を進んでできるよう指導してほしい。
- ・来校することが多いが、こちらから挨拶しても児童からしていただけないことが多々あります。
- ・LINEがないと気持ちの安定ができないように思う。

→子供達の登下校について、各学年に応じて指導を続けています。今年度は、登下校中の転倒や事故によるケガが発生しています。コロナによる臨時休業が長く続いたことによる運動量の低下や注意力の低下も考えられます。自分の命や安全を守るとともに周りの人の安全にも気を配って行動できるように続けて指導していきます。また、通学路の確認、集団での歩き方などは12月のひがまいメイツ（集団下校）の際に、各地区担当からも触れたいと思います。毎年の課題ですが、登校時刻の8時よりも早く学校に到着し、校門前に並ぶ子供が増えてきています。多いときは歩道まで子供達であふれてしまうことがあり危険を感じる場合があります。8時から8時15分の間に登校できるよう、出発時刻についてお声掛けいただきますようお願いいたします。

→「挨拶」は好ましい人間関係を築く基本になる大切なものです。以前から、代表委員会の子供達が積極的にあいさつ運動に取り組んでくれています。毎朝、校門では元気いっぱい「おはようございます」の声が響き合っています。残念ながら、校内で挨拶をしても、お返事が返ってこない場合があります。企業でも「挨拶」や「挨拶から始めるコミュニケーション」について研修が行われるようです。「挨拶」が人間関係を円滑にし、集団の活性化に重要な役割を果たしていることは、長い時間をかけて実感するものなのかもしれません。まず、教職員が、相手に聞こえる気持ちの良い挨拶を続けるよう心がけます。



→LINEを始めとするSNSの流行に、私達もなかなかついていけません。また、ネットゲームで顔も知らない人とメッセージ交換をしているという話も聞きます。学校のルールとして規制できるものでもありませんが、道徳や学活の時間に、視聴覚教材を利用した指導は大切にしていきます。スマホやタブレットはフィルタリングなどを活用し、保護者の方が使用状況をしっかり把握しておいてください。

②学校行事について

・年度替わりからの新型コロナ対策に先生方がどれほど苦心されたことかと思います。先生方が十分に休んでいただいて、健康で元気に過ごされることが子供達にとって1番良いことだと思います。

・様々な形で学校行事を実施していただき、嬉しく思っています。

・この状況下でもやれるだけの行事などをしていただいて感謝しています。

(運動会)

・組体操をしなくても、それに代わることをしても「感動」があるのではないかな。

・運動会のお弁当、児童は各クラスで、保護者は自宅に帰って食べてもいいと思います。

・なぜクラスで赤と白にわけてしまうのでしょうか。運動会を通して、クラスの団結力が高まり、他の活動にもよい影響を与えると思うのですが、クラスを半分に分けてしまうと半減してしまうように感じます。

・熱中症の危険があるので、子供達全員が入れる数のテントを準備してほしい。毎年気分が悪くなる子がいるので心配。難しい場合は、どういう問題があるのかを提示されると分かりやすい。

(音楽会)

・コロナ収束後も、学年別に客席の入れ替え制にしてはどうか。同じ演奏を3回もする必要があるのかどうか。

(修学旅行・自然学校)

・修学旅行が広島でなくなってしまったのは残念です。楽しいだけでなく、1つのテーマを考えることで、子どもたちが成長したと昨年感じました。今の子どもたち、未来を担う子どもたちには、平和学習が必要です。戦争について学び、知ることで、平和を作りだす大人になってほしいと願います。

・自然学校でのバスは換気ができていたのか心配になった。

(その他)

・田畑で土を触る機会を増やして欲しい。

・1. 17震災関連行事について 寒い時期に校庭でお話を聞くことに不安を感じています。防寒対策、短時間化を検討ください。

・オープンデーや参観の曜日を分散してほしい。金曜日、水曜日が多いように思うが、仕事で行けない事が多いので、他の曜日にも行ってもらえると助かります。



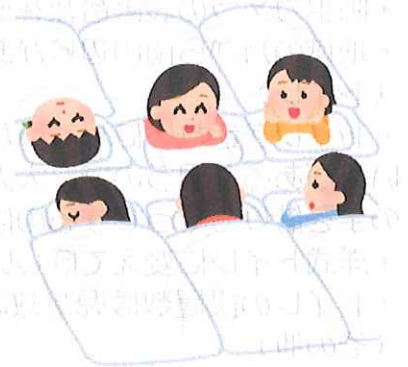
→コロナの影響を受け、昨年度の3月以降の学校行事は全て見直しを迫られる状況にあります。特に、卒業式や入学式は、神戸市の方針が二転三転し、その度に計画を練り直すという作業が続きました。子供達や保護者の皆様にもご心配をおかけしましたが、その都度、ご理解、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。本来であれば、そろそろ次年度の大きな行事について日程が仮決定している時期になります。今年は、まだ何も決まっていません。今後の行事実施についても、情勢を注視しながら、感染予防を徹底したうえで、安全な範囲内で行うという姿勢で臨んでいきます。職員へのお心遣いの言葉、本当にありがとうございます。

→長年、運動会で親しまれてきた「組体操」については、ここ数年、賛否両論、様々な議論が重ねられてきました。神戸市としては、原則廃止が発表されています。本校も、今後「組体操」を実施することはありません。紅白分けに関しては、学年ごとにクラス数の違いもあり、クラス単位で紅白を分けることは難しいと考えています。実際の練習や準備は赤白関係なく協力して行っています。クラスや学年を越えた仲間意識は様々な経験を通して身につけていくものだと思います。

→年々、温暖化の影響が懸念される中、熱中症対策は喫緊の課題であると受け止めています。現実的に約1000人の子供達を覆うテントを設置しながら従来の運動会を実施することは困難です。実施時期や時間、内容の見直しを図り、子供達の健康に負担のないように計画を進めます。今年度、秋に学年単位での運動会（スポーツフェスティバル）を実施しましたが、今後しばらくは、このような縮小した形での開催になるのではないかと思います。

→本校の規模では、音楽会についても、今年度の「ひがまいスマイルコンサート」のような学級単位の音楽発表会が限界のように感じています。新しい試みでしたが、子供達が自分の希望する楽器に挑戦できたり、クラスの個性や団結力が感じられたりする良さもあったと思います。一日も早く、子供達が思いっきり歌声を響かせてくれる音楽会が戻ってくることを願っています。

→本校では、平和学習の一環として修学旅行を位置づけ、原爆ドームをはじめとする戦跡を訪れたり被災された方のお話を聞いたりする機会を大切にしてきました。今年度、目的地を奈良・鈴鹿方面へと変更しましたが、平和学習を軽視したという意図ではありません。決して批判ではないのですが、子供達の健康や安全を考慮すると、広島での宿泊には幾つかの課題があります。広島は国内外からの訪問者が多く、アレルギー疾患等に対応できる宿泊施設が確実に押さえられるわけではありません。また、病院への搬送にも時間を要します。万が一の際、保護者の方にお迎えを依頼すると、かなりの長距離を移動することにもなります。その他、予算や活動内容を比較しても奈良・鈴鹿方面の方がより充実した活動が可能であると判断し、目的地を変更しました。今、現在、6年生では、原爆の紙芝居を見せていただいたり、「神戸空襲を記録する会」のメンバーを講師にお迎えした平和学習に取り組んだりしています。平和を願い、平和な世界を築いていく心は、どの学年でも、すべての教育活動を通じて育んでいきたいと思っています。



→次年度の宿泊行事について、教育委員会からの方針等は示されていません。今後の情勢を見守り、保護者の皆様のご意見もお聞きしながら計画を進めていきたいと思っています。

→栽培活動については、どの学年にも生活科、理科中心に位置づけられています。今年度は、総合的な学習として、3年生で「大豆」、5年生で「稲作」に取り組みました。先日は、2年生の子供達が間引いたハツカダイコンの葉を大切に持ち帰る姿を見かけました。土に触れる機会を通して、環境、食、命、職業…様々な視野を広げて欲しいと思っています。

→震災祈念行事についてはご指摘のように極寒の時期ということで、他校では体育館で実施していることが多いと思います。実際に経験した人達にとっては、厳しい寒さが、地震の日の記憶をより鮮明に思い起こさせ、身が引き締まる思いの一日かもしれません。今年度は、地震を想定した避難訓練のみ外で実施し、祈念行事は各教室でテレビを利用して実施する方向で計画を進めています。

→参観、オープンデーの曜日設定については、行事との兼ね合いもあり難しい面があります。今後も偏りが出ないように計画します。

③学校施設について

(施設)

- ・狭い廊下でぶつからないか心配。
- ・遊具を増やしてほしい。図書室に偉人の本をたくさん入れてほしい。
- ・教室のエアコンを年に1度でも業者による清掃作業をしてもらえるといいと思う。
- ・上靴に履き替えられるようになれば、衛生面でもよいかと考えます。雨の日も履かせるものにとっても困っています。

(セキュリティ)

- ・安全管理について対策を強化していただけたらありがたいです。
- ・校門のセキュリティはしっかりしたものにしてほしい。(ICカードや門・柵の高さ)
- ・第2グラウンド東側より不審者の侵入があった場合、即座に気付くことができるか不安。
- ・閉門されている時はよいが、無防備に開け放されている時が気になる。
- ・防犯カメラの設置台数を増やしてほしい。
- ・地域の方から南門辺りがあまり安全でないように見える。南門にもミマモルメを。

(トイレ)

- ・トイレをきれいにしていただきたいです。子供達がそうじをしています、行き届かない所があると思うので、大人の手が必要だと思います。設備を変えるのは難しいので、親の手を借りてそうじするのはどうでしょうか。

- ・洋式トイレに変えてほしい。
- ・トイレの設置数は児童数に合っているのか。トイレに行列ができて子供が困っている。

(その他)

- ・北校舎の北側の斜面が土砂崩れ警戒区域になっているが安全対策はしているのか。子どもたちが避難する階段等。
- ・今年になり登下校の車が増えている。特に雨の日はひどい。通学時危険を感じる。



→本校は、校地全体が傾斜地に立地しており、校舎をはじめ多くの施設設備が老朽化していることから様々な不具合があります。倒壊が心配されるブロック塀を撤去したり、地盤沈下による段差を解消したり、教育委員会にも申請し改修を続けています。また、設備面でも電力が足らず、停電が発生する等、学習だけでなく安全管理にも支障が起きています。今後も、教育委員会と相談し、危険な箇所の改修に取り組んでいきます。ガラスの張替、壁等の補修等、小破修繕については管理員さんが、素早く補修を進めてくださっています。

→今年、6月、南館の学童コーナーに不審者侵入の形跡がありました。垂水警察署や市の関係当局とも協議し、東門付近への防犯カメラ増設について検討しました。教育委員会にも計画書を提出し、増設の依頼をしています。正門については、職員室でモニターし、異常があれば職員が駆けつけるようにしています。南門は、使用頻度が少なく、校外学習と集団下校の際に使う程度なので、ミマモルメの設置は考えていません。今年、南門周辺の樹木を伐採しましたので、少しは見通しが良くなりました。防犯上の観点から、樹木や低木を定期的に整美したいと思います。

→エアコン清掃は専門業者と協議中です。予算的な折り合いがつけば実施していきたいと思っています。フィルター清掃は年2回程度行っていますが、周辺の埃等にも気を配るようにします。